



發行所 新津市役所
 発行人 新津市役所
 総務企画課
 電話 代表 550 番
 印刷所 東洋館印刷所
 毎月一回 発行

人口動態
(昭和39年11月末現在)

人口	56,701
世帯数	11,603
(11月中)	
出生	59
死亡	32
婚姻	49
離婚	4
転入	150
転出	152

この場合、地区全体としては、各ブロックの現勢・発展の段階からいって当面、新潟ブロックの拠点性をさらに強化し、あわせて他ブロックの新潟ブロックとの有機的結合することとしておりま

政体は、これらの措置に伴なつて、市町村民税が減輕になり財政困難となつた。市町村に對してはその市町村が最高限度の税率でも市町村民税を課税するものとしたり計算した額と従来の課税方法、税率によつて計算した額との差額を限度として財政援助をするに依つた。

この改正の結果、昭和四十四年度の市民税（所得割）の個々の負担額につぎまゝでは、所得の低い者では、所得の

新産業都市建設計画
五ブロックに市街

既成都市中心に關

[illegible]

市、西川町、湯東村、味
方市、月湯村、中之口村、
水原、月湯村、水原町、
征神村、京ヶ瀬村)の五

市民税の算出方法改正
事実上、五千万円の減税
 全国統一方式(本文方式)

い差異がありましたが、地方税法の改正に伴って各市町村共昭和四十年代からいわゆる本文方式の課税方法を実施せねばならないこと、また税率も法律限度が定められ

振興のため期して待つべきものがあ

期日 昭和四十年一月十五日
会場 第一小学校体育館
日程 受付九時から九時三十分から

名の成人を祝う
日一小体育館で式典

く成人
を迎え
られた
八百三
十名の
方々を
お祝い
する式
典を次
の通り
挙行之
る

列されるようご案内申し
上げます。

今回の該当者は、昭和
十九年一月十六日から昭
和二十年一月十五日まで
の間に生まれた方で、新津
市に在任の方には区長さ
み経由で、一月六日付で、
それぞれ案内状を発送し
ます。該当する方で通知
のなかつた方がありまし
たら至急公民館へ申し出

[illegible]

昭和は、これの税額増に伴つて市町村民の負担が重なり財政困難となすの虞ありに於いてはその市町村が最高限度の税率で市町村民税を課し得ることを以て計算した額と従來の課税方法、税率とを以て計算した額の差を限度として、財政援助を行ふこととした。

改正の結果、昭和四年度の市民税（所得割）の個々の負担額（所収）によつては、所得の別によつて、所得の

昭和四年年度から改正昭和三年年度から正興興するところになりまし
た。
故正部分の増額は二頁に表にして掲載してあります。

この改正の結果、昭和四年度の市民税（所得割）の個々の負担額（所収）によつては、所得の別によつて、所得の

新産業都市建設を推進



年頭の辞

新津市長 桂 馨 達

館の焼失と相づく事故を生じましたことはまことに遺憾ではありますが、幸い一般住家の類焼もまぬか

特に、本年は新座都市作りの一環として環境整備事業の下水道工事を五年計画をもって着工する予定

とうご
未た
られ、さつ
そく、新津
市と市社会

ま方のご協力によるものと深く感謝申し上げます。
ものでございます。施設の復旧には学校教育に支障
のないよう尽力する決意でありますので、ごんごとも

が挙がるよう努力する所存であります。

なお、昭和四十年度の事業計画並びに構想等につきましては所定予算案提出の期に間に合はぬと見込まれてゐるが、

ありか
歳
ではこれに
市費を加え
る二十四

また、昨年は農業構造改善事業近代化施設の一端としての畜産を、その勢力を拡大する意図の下、農

いと存じますが、昨年までに築きあげました礎石の上に、更に住みよい街づくりに献身する決意でありますので何卒皆さまのご支援ご協力を

に人数に應じ千円から二
千円の食品詰合せ袋を、
また入院、老人ホーム入

て、臨海排水事業が進められ、更に第二次農業構造改善事業が正式に承認されたのでありますが、その成果

さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ所懐の一端を申し述べまして新年のご挨拶といたします。

レゼントし、よい年を迎えていただきました。

歳末たすけあい募金

かまへない行
事となった
歳末のすけ
あい募金は
二十六日現
在二四一、
一三八円の
あたたかい
同僚が寄せ
られ、さっ
そく、新津
市と市社会
福祉協議会
ではこれに
市費を加え
て二十四
生活困窮世帯
に千円から二
千円までを
贈呈して給
うと、老人
ホームに入
居する人を
つよい年を
迎
えさせた。

迎 春

新津市役所	市役所	助役	長	佳	岩次	收入	役	住	岩次	財政課長	夏	阿部	沼	清	治	稅務課長	三	間	勘	次	徴収課長	沢	川	芳	雄	保健衛生課長	樺	村	章	平	農林課長	豊	岡	六	留	二	民生課長	吉	川	洞	憲	夫	建設課長	塩	谷	義	正	會計課長	渡	辺	義	正	水道局	局長	福	住	山	次	局長	野	中	丙	年	正	施設課長	高	橋	正	市議會議員	議長	長	石	山	常	一	議員	佐	藤	増	清	山口	富	造	荒	木	榮	作	小	島	重	三	緒	城	守	五	十	五	福	田	修	吾	二	錦	永	貞	郎	栗	原	耕	作	伊	藤	定	平	伊	川	新	善	福	山	圭	忠	日	黒	光	弘	市	原	謙	平	沢	原	謙	平	成	沢	勝	男	鈴木	徳	太	風	間	吉	平	渡	辺	繁	雄	佐	藤	三	郎	伊	藤	四	男	二	深	井	常	吉
-------	-----	----	---	---	----	----	---	---	----	------	---	----	---	---	---	------	---	---	---	---	------	---	---	---	---	--------	---	---	---	---	------	---	---	---	---	---	------	---	---	---	---	---	------	---	---	---	---	------	---	---	---	---	-----	----	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	------	---	---	---	-------	----	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事務局長	明間鉄太郎	小林独則	箱屋敏一	民野六衛
監査委員	吉田寅一	佐藤昌一	滝沢榮松	
事務室長	滝沢榮松			
選挙管理委員会				
委員	長石崎石術	木田慶治	海津榮一	古川光三郎
書記長	阿部清治	清治		
公平委員会				
委員	榎井榮三郎	井越隆三郎	芥路隆二	
固定資産評価審査委員				
委員	長吉沢芳太郎	大塚延秀	吉田修治	荒木政太郎
				佐上七三郎
				佐藤清之助
				田中耕治
				石崎石術
				守田康雄
				伊藤徳太郎
				古田源助
				蛭野新吾
				樋浦登吾
消防署	中沢清			
消防長	福住由次			
消防次長	長藤井馨	猪野一雄		
教育委員会				
委員	長秋山利央	西塔政弥	榎田勝弥	池田忠雄
教育長	堀川政吉			
庶務課長	荒木末次			
社会教育課長	岩城一市			
公民館長	青木一良			
図書館長	山岸一良			
第一小学校長	石川松郎			
第二小学校長	藤寿衛			